

## アジア獣医師会連合（F A V A）日本事務所を誘致へ!!

服部誠太郎福岡県知事は、令和4年2月21日（月）に開会した令和4年2月福岡県議会の冒頭、  
『世界を視野に未来を見据えて、成長・発展の歩みを力強く進めていくため、幅広い県政の中でも、  
次の四つのことに重点を置いて取り組んでまいります。

**その第四は、「ワンヘルスの推進」です。**

今年11月末に本県で開催される「アジア獣医師会連合（F A V A）大会」を契機として、本県のワンヘルス推進の取組みをアジア、そして世界に向けて発信してまいります。』

との所信を述べられました。

令和4年3月1日（火）、福岡県議会で野原隆士議員（福岡県獣医師会副会長）が自民党の代表質問で、「F A V A日本事務所の福岡県への誘致について」知事に質されました。



### 【質問】

日本獣医師会が知事に要望されたように、期限付きで設置されているF A V A日本事務所を引き続き設置することが不可欠である。

国連ハビタット福岡本部を誘致したときのように、F A V A日本事務所の設置について、県民が一体となって誘致に取り組む必要があると考えるが、知事の意気込みをお聞かせください。

### 【知事】

F A V A日本事務所の福岡県への誘致についてです。

先月25日、日本獣医師会蔵内会長からF A V A日本事務所の誘致の検討についてご要請をいただきました。

要請書におきましては、「現在期限付きで設置されております日本事務所を常設のものとし、アジア及び世界におけるワンヘルス実践活動をリードしていく」お考えが表明をされております。

この事務所が本県に設置されますことは、ワンヘルス実践の礎となる「福岡宣言」がなされ、全国で初めてワンヘルス推進基本条例を施行し、ワンヘルスの世界的先進地を目指しております本県にとりまして、大変意義があることであり、さらには、九州地方知事会と一緒に国に要望いたしております「アジア新興・人獣共通感染症センター（仮称）」の九州への誘致の強力な後押しとなるものとも考えています。

このため、「国連ハビタット福岡本部」の誘致の取組も参考にして、日本事務所の本県への誘致につきまして、今後、県獣医師会、関係自治体、地元経済界の皆様とも相談しながら取り組んでまいりたいと考えております。

# アジア獣医師会連合 日本事務所を誘致へ

## 県議会代表質問 知事が意向

服部誠太郎知事は1日、アジア・オセアニアの獣医師でつくるアジア獣医師会連合（FAVA）の日本事務所を県内への誘致に取り組む意向を明らかにした。県が推進する人と動物の健康と自然環境を一体的に守る「ワンヘルス」の活動促進につなげたい考え。

県議会の代表質問で野原隆士氏（自民）に答えた。FAVAは日本事務所の誘致は日本獣医師会が検討している。本部はタイ・バンコクにあるが、主要な活動プランのうちワンヘルスや薬剤耐性菌対策など4分野は日本の専門家が主導しており、日本事務所はこれらの活動拠点にしたい意向だ。

FAVAは11月に福岡市で開く大会に向けて同市内

に臨時事務所を開設しており、大会終了後に常設の日本事務所へ移行することを目指す。2月25日には日本獣医師会の蔵内勇夫会長が知事に協力を要請。服部氏は代表質問で「関係自治体や地元経済界と相談しながら誘致に取り組みたい」と述べた。（黒石規之）

### 保健環境研究所跡地 公共目的利用を優先

#### 県が方針

県は1日、みやま市への移転が決まった太宰府市にある県保健環境研究所の跡地利用について、公共目的を優先する方針を明らかにした。まずは県教育庁や県警を含めた県での利用を検討する。

県議会代表質問で服部誠太郎知事が民主県政県議団

西日本新聞・朝刊

# アジア獣医師連 事務所誘致方針

## 知事、ワンヘルス推進

服部知事は1日、11月にアジア獣医師会連合（FAVA）大会が福岡市で開催されることを受け、人と動物の感染症対策を進める「ワンヘルス」の推進に向けて取り組むFAVA日本事務所を県内に誘致する方針を明らかにした。

県議会代表質問で、自民党県議団の野原隆士議員の質問に答えた。

FAVAはアジアやオセアニアなどの23か国・地域

で構成。大会は11月11～13日に同市内のホテルで開かれ、人と動物の共通感染症対策などを議論する。

服部知事は答弁で「（FAVAの）事務所が本県に設置されることは、ワンヘルスの世界的先進地を目指す県にとって大変意義がある」と述べた。

読売新聞・朝刊

2022年3月2日

福岡ワンヘルス協議会・事務局